

テーマ：『 須恵川の河川公園を生かした環境教育の教材開発と実践 』

福岡県福岡市立 箱崎清松中学校

Tel. 092-612-1237

担当者： 前田 勉



■実践内容：

第1学年 選択理科において「須恵川の環境調査」を年間指導計画に位置づけ実施した。

本校では、平成18年度から選択理科の授業において、学校に隣接する須恵川河川公園観察デッキを主な学習活動の場とする「須恵川の環境調査・自然調査」を行っている。

平成20年2月：多々良川ミニ文化祭(福岡市東区役所の多々良川ゆめプラン委員会主催)に参加

須恵川を含む多々良川水系の環境保全を考える交流会に選択理科の受講生が参加した。

これまでに行った「須恵川の水質調査」の調査結果(鳥、魚、水中の微小生物、空気、地形)を発表し、他の団体と交流した。

平成20年3月～4月：自然観察ワークシートの作成

平成20年5月～8月：学校周辺の自然調査に関する調査(河川流域の鳥類、河川流域の魚、観察デッキ付近の水中の微小な生物、河川流域の水質など)

平成20年9月：調査報告の発表と意見交流会の実施

平成20年9月～10月：環境保全を考えるためのパンフレット(私たちの須恵川)づくり

平成20年11月～(予定)：作成したパンフレット(私たちの須恵川)を使って、須恵川の自然について地域に発信する活動を行う。須恵川の環境保全についての地域住民としての責任と役割を考える。

平成21年2月：多々良川ミニ文化祭(福岡市東区役所の多々良川ゆめプラン委員会主催)に参加(予定)

■実践成果：

環境教育コーディネーターと連携し授業を実施したことで、より専門的なアドバイスを受けることができ、調査活動の意欲を高めることができた。

身近な河川に多様な生態系があることを、自然調査を通して実感して知ることができ、環境保全の活動に対する意識付けとなった。

地域の環境保全を考える交流会に参加し、本校以外の様々な環境保全に取り組む団体と交流することができ、より具体的で実践的な学習を進めることができた。

■実践ポイント：

学校に隣接する須恵川の河川公園観察デッキを活用し、学校周辺の河川の自然環境を調べる活動を行った。本実践は、観察結果や調査結果をまとめるだけでなく、地域に情報発信する活動を通して、地域住民としての責任と役割を考えながら、環境保全に参加する活動として意義があったと考える。